

# 設備機器

## ここでの監理者の心構え

設備機器については、建物ごとに指定品の違いがあり、メーカー、機種によっても注意事項が異なる。近年ますます多様化して増えていくことが予想される。検査のタイミングも様々な状態で行う必要があり、チェックも一度で終わらない。そのため、設備ごとに設計図書、メーカー承認図、施工図などで事前に確認・理解し、現場にも正確に指示を出しておかなければならない。代表的な設備機器のチェックリスト項目を列記しておくが、現場ごとに空白に必要な項目を記載して使用すると良い。

工事名	工期	年	月	日( )
	監理責任者			

項目	ポイント	✓	チェック項目
設備機器	給排水系の 主な設備	参考写真①～②	<input type="checkbox"/> キッチンセットと配管取り合いに不具合はないか
			<input type="checkbox"/> 洗面台と配管の取り合いに不具合はないか
		参考写真③	<input type="checkbox"/> 便器と配管に不具合はないか
		参考写真④	<input type="checkbox"/> 給湯器の取り付け位置に問題はないか (開口部との位置関係に注意)
		参考写真⑤	<input type="checkbox"/> ユニットバスの手摺・タオル掛けなどの 付属品の位置と忘れはないか
		参考写真⑥	<input type="checkbox"/> 洗濯機水洗の取り付け位置に問題はないか
		参考写真⑦	<input type="checkbox"/> 給湯器リモコンの取り付け位置に問題はないか
	エコキュート・ エネファーム・温水器	参考写真⑧～⑪	<input type="checkbox"/> エネファーム・温水器
			<input type="checkbox"/> メンテナンス用のスペースが確保されているか
			<input type="checkbox"/> 排気用のスペースが確保されているか
			<input type="checkbox"/> 専用の金具で、外壁にしっかり固定されているか
	在来浴室		<input type="checkbox"/> 基礎立上りに十分な高さが取れているか(1mが目安)
			<input type="checkbox"/> 板貼りとする場合は下地に防湿層・防水層が設けられ、 水が下から抜けるようになっているか
	ハーフユニットバス		<input type="checkbox"/> 浴槽と壁の取合い部分の防水処理は適切か
ガスメーター 参考写真⑫～⑬		<input type="checkbox"/> 取り付け位置に問題はないか	
水圧テスト 参考写真⑭		<input type="checkbox"/> 器具接続後に水圧テストは行ったか	

メモ

項目	ポイント	✓	チェック項目	
設備機器	電気系の主な設備  参考写真⑮～⑰ 参考写真⑱～⑲	<input type="checkbox"/>	インターホンの位置は図面通りか	
		<input type="checkbox"/>	分電盤の位置が適切か	
		<input type="checkbox"/>	壁付照明器具の位置・高さと、天井の照明器具の位置の確認	
		<input type="checkbox"/>	ダウンライトについては、天井に断熱材が入っている場合に対応できる器種か	
		<input type="checkbox"/>	エアコンはダクトのスリーブ位置とカーテンレールなど、筋かい、外部庇との干渉を確認	
		<input type="checkbox"/>	外部電気メーター取り付け位置に問題はないか	
		<input type="checkbox"/>	防犯機器(セコム等)の位置は図面通りか	
	太陽光発電・温水	参考写真⑳～㉒	<input type="checkbox"/>	製品ごとに、屋根面の防水(垂木・野地板)についての仕様を確認する
			<input type="checkbox"/>	メーターや室内側機器の取り付け位置の確認

メモ